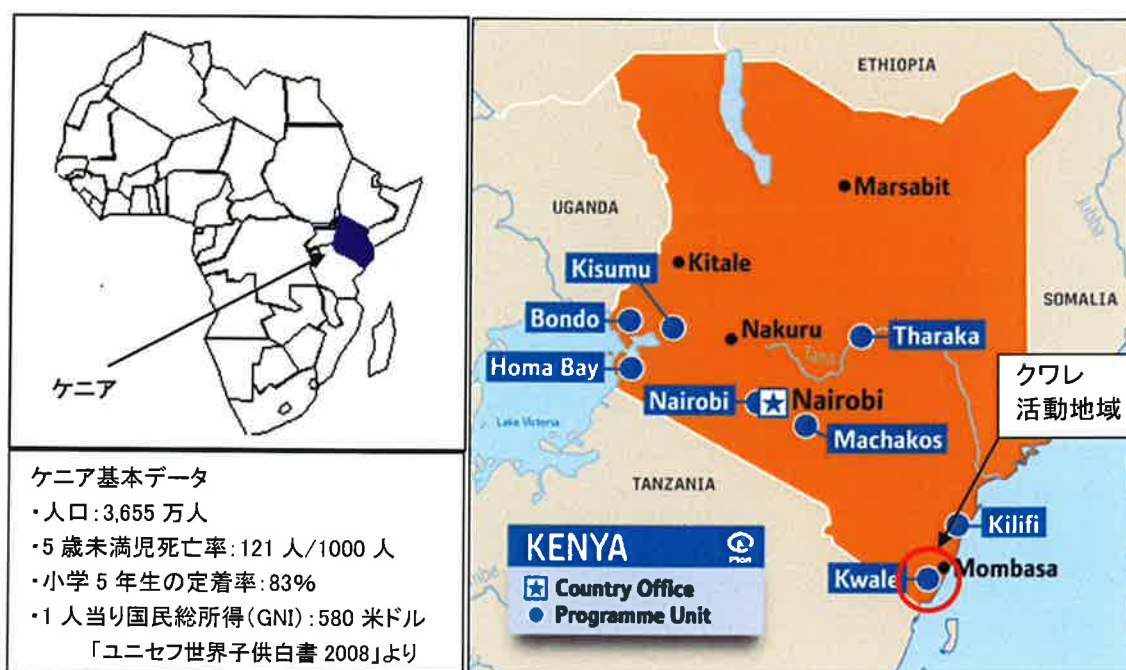


# しょうがっこうをおくる会 様 プラン特別プロジェクト ケニアにおける学校建設プロジェクト 完了報告書

## 1. プロジェクトの背景・概要

プランは、ケニアで1982年に活動を開始して以来、首都ナイロビを含む9つの現地事務所を拠点として住民参加型の地域開発活動に取り組んでいます。



このプロジェクトは、ケニア沿岸部のクワレ活動地域が管轄するキナンゴ地区ダンプルで実施しました。この地域には、1年生から8年生の子どもたち643人が通うモイエニ小学校があります。この小学校は、1982年に生徒の親たちによって設立され、生徒たちは8つの仮設教室を含む計13教室で学んでいましたが、2008年2月13日、吹き荒れた強風が授業中のモイエニ小学校を襲いました。

幸いにも子どもたちにけがはありませんでしたが、2つの教室の屋根が吹き飛ばされ、他にも教室やトイレが壊れるという甚大な被害を受けました。この結果、4教室で学ぶ約200人の子どもたちが、屋外で授業を受けざるを得なくなりました。授業は木陰で行われてはいるものの、子どもたちは暑さや土埃にさらされ、健康状態への影響が心配されていました。また、このような環境では

授業に集中することができず、子どもたちの学習効率は低いままに留まっていました。

このような状況を改善するため、このプロジェクトでは、モイェニ小学校に2教室を建設し、防風林として機能するよう構内に植樹を行い、子どもたちにとってより良い教育環境を整えることを目指しました。

## 2. プロジェクトの経過

このプロジェクトは、2008年6月の開始以来、豪雨の影響で若干工事の開始が遅れたものの、概ね順調に推移しました。下記の活動を経て2009年2月に無事完了しました。

### ■ プロジェクトの準備

ご支援決定後、プランは地域の人々、教師や保護者など関係者を集め、ミーティングを開きました。この会議ではプロジェクトの説明を行い、プロジェクトの実施にあたり、それぞれがどのような役割を果たすかを話し合い、積極的にプロジェクトへ参加する体制を作りました。また、地域の人々は砂利などの資材を集め、それ以外のセメント・ブロック・鉄板・木材をプランが調達しました。

### ■ 建設作業

2008年7月、地面に溝を掘り、教室の基礎工事が始まりました。地面に溝を掘る作業は生徒の親たちが担当しました。その後、建設業者を選定する入札会が、入札選定委員会、地域の人々、およびプラン職員の参加のもと、開催されました。公正な審査の結果、最も適切な業者1社を選定しました。

2008年9月、建設業者との契約締結後、工事を開始しました。10月、11月に想定外の豪雨により周辺道路がぬかるみ、資材の搬入が難しくなったこと、および12月から1月にかけて病欠により職人の数が不足したことが主な原因となって、建設工事に多少の遅れが生じました。その後、道路公共事業省および保健省の技術協力を得て、建設工事は無事に進み、2009年2月に完了しました。工事中は、地域の人々により、資材の管理やプロジェクトの進捗管理が日々行われました。

現在、新しく建設された快適な2教室で、7年生と8年生の生徒合計92人が授業を受けています。また、8年生のうち28人の生徒が、高校入学のための初等教育検定試験を受けることになっています。さらに、地元企業から、防風林用の苗木1,000本が寄付され、学校の周りに植樹しました。

### 3. プロジェクトの成果

#### ■ 子どもたちの学習環境と、教育の質の向上

新しい教室が完成したことで、現在同校に通う子どもたち643人、特に7年生と8年生はこれまでのように屋外で授業を受ける必要がなくなり、学習環境が大きく改善されました。安全で快適な教室の中で子どもたちは安心して過ごせるようになり、集中力が高まるとともに、学習効果の向上が期待できます。

#### ■ 住民参加による、地域の能力強化

プロジェクト期間中、子どもたちを含む地域の人々、保護者会、教師、自治体の担当者などプロジェクトに関わるすべての人々が良好な協力関係を築き、うまく役割分担をしながらプロジェクトに積極的に参加しました。その結果、地域の人々自身が責任を持って、プロジェクトによる成果を継続させていく体制が整いました。

### 4. プロジェクト支出

しょうがっこうをおくる会様からいただいたご寄附17,000米ドル(183万円)のうち、下記のとおり15,399米ドルを支出いたしました。残る1,601米ドルのうち 1,350米ドルは2009年6月までに建設業者に支払い、251米ドルもプロジェクトに関連する活動内容に支出させていただきます。

活動内容	予算(米ドル)
2教室建設	14,650
プロジェクト管理費	749
合計	15,399

### 5. 現地の声

「強風が吹いても新しい教室が壊れないように、学校の周りに植林を始めました。これでどんなに強い風が吹いても大丈夫です。」 (ムワナトゥム／13歳)

「もういつもぎゅうぎゅう詰めだった教室とはお別れです。新しい2教室は風通しがよく、涼しいので、快適に授業を受けることができます。」 (ラマダン／15歳)

「地面の溝堀作業は大変でしたが、その甲斐がありました。子どもたちは、新しく建設された広くて明るい教室で授業を受けられるようになりました。」  
(ノソロ／40歳、生徒の親)

「新しい教室ができて、生徒たちは以前より授業に集中することができるようになりました。これでもう子どもたちが強い日差しや雨、土埃にさらされることがなくなって、良かったです。」  
(ンデグワ／45歳、教師)

「去年の強風で倒壊してしまった教室に比べ、新しく建設された教室はともしっかりした造りです。ご支援くださったしょうがっこうをおくる会様、そして作業に協力してくれた生徒の親の皆さんに感謝いたします。」  
(クウェクウェ／37歳、プラン職員)

## 6. 写真



(写真左上、左下)  
完成した新校舎の様子







校舎内部の様子。  
明るくて清潔な教室ができました。



新しい教室で授業を受ける8年生の生徒たち。



新校舎正面には、しょうがっこうをおくる  
会様のご支援に感謝して、記念プレート  
が設置されました。



(プレート訳)

この校舎はしょうがっこうをおくる会様からのご寄付により、モイエニ村の人々の協力を得て、実現しました。

2009年

## 7. お問い合わせ先

財団法人 日本フォスター・プラン協会(プラン・ジャパン)

プラン特別プロジェクト担当 寺田 聡子

TEL:03-5481-6265/FAX:03-5481-6200

Email: [terata@plan-japan.org](mailto:terata@plan-japan.org)